

日時:8月27日(火) 16:00 - 18:00

場所:ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル「シルク」



共催: AUDA-NEPAD (アフリカ連合開発庁—アフリカ開発のための新パートナーシップ)

IFNAを通じた全アフリカでの栄養改善

—栄養素やセクター連携に着目した活動の優良事例、課題、可能性—

背景

アフリカは多くの栄養不足人口を抱え、今なおそれが増加傾向にある。特に栄養改善が重要となる5歳以下の子どもは2025年には2億人に上ると推計され、これら全ての子どものために「栄養の安全保障」が求められている。TICAD VIで立ち上げられた「食と栄養のアフリカ・イニシアティブ (IFNA)」によって、多くの関係者によるセクター横断的な連携アプローチや必要栄養素の需要・供給量を踏まえた農業セクターの介入アプローチなどの側面から、優良事例が生まれている。2025年までに全アフリカの栄養改善を目指すIFNAの目標に向けて、こうした経験をすべてのアフリカの国々と共有していくことが求められている。

目的

2020年の世界栄養サミット開催や国際的な栄養関連指標の達成を見据え、2億人のアフリカの子どもへの栄養改善に向けてIFNAの優良事例を発信し、その経験・活動を全アフリカへ拡大することを宣言する。

キークエスチョン

- ▶ IFNAの当初参加国の現場における栄養改善に関して、こういった優良事例があり、それらをいかにアフリカの他国に展開していくか？
- ▶ アフリカの各国の栄養改善に向けて、こういった課題 (栄養指標、政策、政府の実施体制) があり、IFNAはこれからさらにどう対処していくべきか？

登壇者

北岡伸一 JICA理事長 (調整中)
Dr. Ibrahim Assane Mayaki AUDA-NEPAD 長官 (調整中)
アフリカ複数国の首脳 (調整中)
アフリカ複数国の農業大臣 (調整中)
開発機関の長 (農業／保健セクター、国際開発金融機関など) (調整中)
Dr. Belay Begashaw アフリカ地域持続可能な開発目標センター総裁 (調整中)
Ms. Gerda Verburg Scaling Up Nutrition (SUN) 事務局長 (調整中)